

---

# やさしい雨

青星

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

やさしい雨

### 【Nコード】

N8575X

### 【作者名】

青星

### 【あらすじ】

今日は楽しい幼稚園の遠足です。でも、あいにくの空模様。雨男のバスの運転手の田中さんは自分のせいだと悲しくなってしまう。ところが……。

黄色い雨がっぱにみをつつんだ園児たちが、そろそろバスに乗りこ  
んできます。

「天気よほうは、はれマークだったのにね」

だれかがいったそのひとことが、うんでん手の田中さんのむねをつ  
きさしました。

バスのうんでん手になって、もうなん年にもなりますが、田中さん  
がうんでんする日は、はれたことはありません。

きょうだって、せつかくのバスえんそくだというのに、朝から雨ふ  
りです。

おまけにゆき先は、ゆうえん地・・・。

田中さんは、なんだかもうしわけなくて、ぼうしをおもわず、まぶ  
かにかぶりしました。

（きつと、なん日も前から楽しみにしていたんだろうなあ）

ゆうべ、おおいそぎで作ったてるてるぼうずも、どうやら、ききめ  
がなかったようです。

そういえば、楽しいことがある日はいつも雨ふりでした。

えんそく、うんどう会、花火大会に、誕生日・・・。

そうこうするうちに、バスはもくてき地につきました。

「気をつけてね。楽しんでおいで」

田中さんは、せいっぱいのえがおで、おりていくえんじたちに声  
をかけました。

（おべんとうはどこでたべるんだろう。びしょびしょのベンチはつ  
めたいだろうなあ）

黄色い雨がっぱがぼうぼうへちらばってゆくのを見ながら、田中さ  
んはふかいためいきをつきました。

やがて、おひるもすぎ、そろそろかえる時間がやってきました。

しかし、集合のじかんをいくらすぎても、だれ一人、かえってきま

せん。

「おかしいなあ……」

田中さんがバスをおりてまっけていると、来ました、来ました！  
どの子も、えがおいっぱいです。

「おじさん！　すぐくおもしろかったよ！」

「ぼくなんて、ジェットコースターに二回ものったんだよ！」

田中さんは、あっというまに、えんじたちにとりかこまれてしまいました。

「あのね、雨がふっていたから、おきゃくさんがだあれもいなかったの。いっぱい、いろんなのりものにのれて、とっても楽しかったよ」

田中さんのこころのなかにもじわじわうれしさがうつってきました。  
「さあ、みんな、かぜをひくよ。あそびつかれた子は、ぐっすりおやすみ。おじさんが、今から、あんぜんうんでおくってあげるからね」

雨は、あいかわらず、ふりつづいています。

でも、はじめて、その雨がやさしい雨に、田中さんには思えました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8575x/>

---

やさしい雨

2011年10月23日19時16分発行